

ツールバーメニュー

メイン画面では画面下部にあるツールバーからすべての操作を行います。



プロジェクト

- ボタン
プロジェクト設定画面を開く
- メニューリスト
インポート
現在のプロジェクトにデータをインポートする(インポート形式はこのメニューのポップアップメニューを選択)
- エクスポート
現在のプロジェクトからデータをエクスポートする(エクスポート形式はこのメニューのポップアップメニューを選択)
- 機能
現在のプロジェクトに対して拡張機能を使用する(各機能はこのメニューのポップアップメニューを選択)
- 設定
プロジェクト設定画面を開く
- 閉じる
プロジェクトを終了する









更新

- ボタン
画面を再描画
- メニューリスト
座標
チェックすると座標点を描画
- 路線
チェックすると路線を描画
- 区画
チェックすると区画を描画
- 背景
チェックすると背景を描画
- 更新
画面を再描画
- ラベル
ラベル表示設定にしている場合に描画されるラベルを指定する




GPS

- ボタン
 GPSに接続する
 GPSを切断する
- メニューリスト
測位情報
GPS情報ウィンドウを開く
- 現在地移動
表示位置をGPS測位位置に移動
- 参照点登録
GPS測位位置に参照点を登録

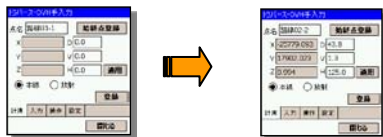
データ操作

- ボタン
メニューリストから選択した操作を行う
- メニューリスト
 選択
測量データを選択する
-  注釈
注釈の記入/編集
-  計測
画面上で位置/距離を測る
-  移動
表示位置を移動する
-  拡大
表示スケールを拡大する
-  縮小
表示スケールを縮小する
-  測量全体
測量全体を表示する
-  背景全体
背景全体を表示する

測定

- ボタン
メニューリストで選択した測定メニューに移る
- メニューリスト
 座標
座標点を測量する
-  路線
路線を測量する
-  区画
区画を測量する

④前視点の測定



D, V, Hの欄にそれぞれ斜距離、水平角、方位角を入力し、「適用」ボタンを押すと、座標 X, Y, Z が算出されます。



このD, V, Hで良ければ「登録」ボタンを押して、頂点の登録を行います。

登録後は次の測定に移り、最後の点まで測定を行います。

測定中の成果の確認は、測定画面を小さくしたり、2回タップを繰り返すこともできます。

⑤放射点の測定



D, V, Hの欄にそれぞれ斜距離、水平角、方位角を入力し、「適用」ボタンを押すと、座標 X, Y, Z が算出されます。



このD, V, Hで良ければ「放射」を選択して「登録」ボタンを押して、頂点の登録を行います。

登録後は次の測定に移ります。

放射点は本線中に点数の制限はありませんが、本線から分岐後1点のみ測定可能です。それ以上を測定するには結合路線で行います。

⑥閉合点の測定



「始終点登録」ボタンを押して、始終点ポップアップメニューを開きます。



メニューから「閉合点登録」を選択すると、閉合点が記録されます。

必ず出発点と閉合点の差が閉合点となり、誤差がなくなります。

⑦結合点の測定



「始終点登録」ボタンを押して、始終点ポップアップメニューを開きます。



メニューから「結合点登録」を選択します。

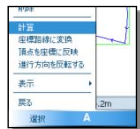


参照点選択画面で参照点2を選択し、「決定」ボタンを押すと、結合点が記録されます。

⑧精度／誤差補正



ツールバーから選択を指定します。このとき選択する路線、区画に合わせて測定モードも変更します。



選択メニューから「計算」を選択してください。



閉合、結合で端末が閉じられている場合、精度、誤差が計算され、自動的に誤差補正も行われます。

「計算」を行った場合、その結果は保存されます。計算結果を破棄する場合は選択メニューから「調整」を選択してください。

お問い合わせは…

株式会社ティンバーテック
TEL:0166-49-2035
FAX:0166-46-1164

GPS測量

GPS 測量では座標点、路線、区画すべての図形を測ることができます。測定方法は自動的に連続した位置を記録する「連続記録」モードと、任意の場所で1点ずつじっくりと記録する「端点記録」モードがあります。測定する場所に応じて使い分けることができます。

①連続記録



②端点記録



成果の出力

測定した成果の出力はエクスポート機能を使用することにより行います。

